

長門の話題

Topics



第6回ながとお魚まつり

豊かな海の恵みに感謝

9月16日(日)、第6回ながとお魚まつりが仙崎魚市場で開催されました。市内で水揚げされた鮮魚・活魚の大直売会や模擬せり、魚のつかみ取り大会が行われ、地元団体などによる出店や仙崎海上保安部の巡視船「おおみ」の体験航海なども行われ、会場は多くの人で賑わいました。

また、海や川の豊かさや恵みを再発見するとともに、環境保全の必要性や水産業の置かれている現状の理解を深めようと、平成24年度山口県豊魚祭が同時開催されました。式典の後、キジハタやトラフグ、マダイなど6種類約1,000匹が主催者や来賓の手によって放流されました。



▲大直売会は魚を求める人で大賑わい

▼先日就任した山本知事(中央)も稚魚を放流



赤崎まつり・三隅八幡宮秋季例大祭

色鮮やかな舞に魅せられ

毎年9月は、深川地区で赤崎まつり、三隅地区では三隅八幡宮で秋季例大祭が行われます。

9月10日(月)の赤崎まつりでは、赤崎山グラウンド特設会場で「三番叟」が、雨天のため深川小体育館で「虎の子渡し」が、天候の回復後、赤崎神社楽隊敷で「湯本南条踊

り」、「月の前の伶楽」が奉納され、馬蹄形観覧席で演じられる舞にたくさんの方が魅せられていました。

また、9月16日(日)には、三隅八幡宮で秋季例大祭が行われました。兔渡谷の神楽舞と腰輪踊りが奉納され、色鮮やかな舞を一目見ようと多くの見物客で賑わっていました。



▲湯本南条踊保存会による湯本南条踊り(赤崎まつり)

▼腰輪踊りを踊る胴取の色鮮やかな冠が見物客を魅了(三隅八幡宮)



青海島共和国で民泊を実施

青海島ファン、増える

9月12日から13日にかけて、青海島共和国により体験型修学旅行が実施されました。5年目となる今年は、大阪府茨木市の藍野高校衛生看護科の2年生約80人を受け入れられました。12日(水)の受け入れ式では、共和国の歓迎を受けた後、同校の生徒たちは仙崎・通地区

で民泊を体験しました。翌13日(木)は、仙崎の観光遊覧船、釣り、シュノーケリングに別れ、それぞれ体験学習を行いました。シュノーケリングは青海島海水浴場で生徒38人と先生3人が挑戦し、きれいな青海島の海を堪能しました。



▲めっちゃ海がきれい、めっちゃ楽しい！また来たい！

ラグビートップキユウシユウ開幕戦

地元選手の活躍に沸く

9月8日(土)、ラグビートップキユウシユウ開幕戦マツダブルーズーマーズ対山形屋ラグビー部の試合が俵山多目的交流広場で行われました。マツダブルーズーマーズに所属する長門市出身の選手4人の活躍を見ようと、多くの人が観戦に訪れていました。



第16回油谷湾シーカヤックフェスティバル

懸命に漕いで競い、交流

9月16日(日)、油谷伊上の伊上海浜公園オートキャンプ場で、第16回油谷湾シーカヤックフェスティバルが開催されました。これは、交流人口の増加と観光振興を目的にシーカヤックレースを開催することで長門市の海のすばらしさを再発見してもらおうと毎年

開催されています。今年も雨の降る中、県内外から約40人が参加しました。レースが始まると、選手たちは懸命にパドルを漕いでいました。ほぼ全員がゴールしました。ほぼ全員がゴールし、表彰式も行われました。昼食には地元食材を使った楊貴鍋と肉飯が振る舞われました。

▼1周 10kmの「油谷湾アイランドコース」のスタート



長門市グラウンドゴルフ選手権大会

なごやかに、楽しみながら

9月12日(水)、長門市グラウンドゴルフ選手権大会が三隅総合運動公園で行われました。大会には各スポーツ振興会の代表20チームと体育協会から2チーム121人が参加し、日頃の練習の成果を競いました。参加者は、楽しそうにプレーしていました。





▲左から河内さん、宗金さん、大西市長、松野さん

農事組合法人「三ヶ村」がJGAP認証

安心・安全な農産物を提供

8月28日(火)、長門市内の集落営農法人がJGAP認証を取得したことを大西市長に報告しました。報告したのは、長門市深川湯本の農事組合法人「三ヶ村」です。同法人では、適正な栽培管理を徹底し、安心・安全な農産物を生産するため、半年前からJGAP

認証に向けた検討や取り組み改善をすすめ、8月13日、認証機関から米・大豆のJGAP認証をうけたものです。県内では4番目となります。大西市長との談笑の中では、法人の現状、今後の予定や後継者対策について意見が交わされました。

有害鳥獣被害防止対策研修会

有害鳥獣から作物を守る

9月3日(月)、日置農村環境改善センターで有害鳥獣被害防止対策(イノシシ捕獲技術)研修会が開催され、猟友会の関係者ら約40人が参加しました。イノシシを捕獲するための箱わなの取り扱いの説明があり、研修会終了後、参加者は箱わなを設置しました。



平成24年度健康銭太鼓体操実践講座

健康を維持し、若々しく

8月31日(金)、ラポールゆやで、平成24年健康銭太鼓体操実践講座が開催され、油谷、日置地区で活動している銭太鼓グループのメンバー約70人が参加しました。

この健康銭太鼓体操は、銭太鼓を使って曲にあわせて体を動かす体操で、立っても、

座ってもでき、体調に応じて誰でも取り組める健康体操で、好きな曲に自由に振り付けをし、楽しくふれあいながら実施することができます。実践講座では、油谷地区の4グループが創作発表を行いました。会場から大きな拍手を受けていました。



東日本大震災被災地への支援を続けよう!

東北地方太平洋沖地震に係る被災者支援長門市市民会議から

募金の状況 (8月31日現在)

◆日本赤十字社山口県支部長
門市地区(市福祉課)
20,686,922円

◆山口県共同募金会長門支会
(市社会福祉協議会)
5,226,984円

日本赤十字社、共同募金会とも、募金期間が、平成25年3月31日まで再度延長されました。引き続き温かいご支援をお願いします。



市民会議事務局 福祉課福祉係

Tel 23・1245



昭和 27 年 4 月 9 日生 / 60 歳 / 西深川上川西 2 区在住

長門の人 People

10月20日(土)に開催される第60回長門大津駅伝大会、上田十太さんは第1区に出場する予定となっています。陸上を始めたのは54歳。趣味である自転車の仲間から長門市民駅伝に誘われたことがきっかけとなりました。長門大津駅伝は、今回で3回目の出場。「自分のベストを尽くしたい。」と大会に向けて意気込みを語りました。

いい歳を重ねて 悔いのない人生を

うえだじゅうた
上田十太 さん

ちよつと
小耳に

初めて出場した市民駅伝で区間6位。打ち上げで仲間が盛り立ててくれた。もつと練習してみたらどうなるのだろうと思ひ、本格的な練習に取り組み始めました。次に出場したのは、秋穂でのロードレース大会。5キロにエントリーしました。足を故障していましたが強行出場。わずか3秒、目標タイムに届きませんでした。悔しくて悔しくて帰り道は愚痴ばかり。しかし、それがバネとなりさらに厳しい練習に打ち込みました。

目標に届かなかった

初めて出場した市民駅伝で

時間を有効に使う

毎日朝起きて柔軟体操、日

記に前日の記録や体調を記す。その後、朝食を食べて通勤ラン。少ない時間の中でいかに効率よく練習するか常に考え実行してきました。そして、退職した現在でもその生活習慣は変わっていません。



▲年齢を感じさせない走り



▲短距離、中距離、長距離すべてをこなす

努力 || 記録 || 評価

「努力した結果が評価につながる。そのシンプルなのところが性にあっていった。」

今では、10キロの年代別で優勝したり市民駅伝で区間賞を獲得したりと実力が備わってきました。さらにスピードアップを図ろうと短距離や中距離にも挑戦。中距離においては、山陰マスタース陸上大会で大会新記録を樹立。その記録は、日本一を狙えるレベルにまで達しました。

自分の走りで元気を

「走ることで子どもたちや同世代の人たちなどいろいろな人に元気を与えたい。」

これからも多くの仲間とともに毎日走れる喜びをかみしめながら、上田さんは悔いのない人生を走り続けます。